
クリスマス・イヴ

海香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマス・イヴ

【Nコード】

N5948N

【作者名】

海香

【あらすじ】

クリスマス・イヴ。

28歳にして初めて恋人と過ごすクリスマス。

幸せな気分に戻るそのクリスマスとは…？

クリスマス・イヴ。

家族で過ごす人がいれば、友達同士で騒ぐ人もいるし、一人で過ごす人もいる。

私は、ベターだけど恋人と過ごしている。

正確には、恋人と待ち合わせ中。

18:00に待ち合わせしたんだけど…

今18:30。

普段の私ならとっくにキレている時間なんだけど、

待つのもいいな っと思ってる私はどうかしてるのかもしれない。

何せ年齢28。

同窓会とが行くと、結構家庭を持つてる人がいる年齢。

そんな年で、恋人待つのにこんなにワクワクしてるなんて…

自分でもちよっとどうかしてると思う。

でもね、28年生きてきて初の彼氏だよ！

初デートだよ！

このくらい許してもらえるでしょ。

やっときたカレシ（この言葉を使えることがうれしい）と、街を歩く。

予約していたレストランまでは徒歩数分。

周りを見ればあちこちカップルだらけ。

独り身には肩身が狭いなあ。…と思うのは、独り身の意識がまだあるからかな。

隣には彼氏がいるのに…

私にはもったいないくらいかつこいい彼は、前を向いて歩いている。

手は、ポケットにつっこんだまま。

ちよつとさみしい…けど、手をつなぐなんて私からはできないし。

絶対。

彼氏がいるだけありがたい、と割り切ってみる。

さみしいのは、かわらないけど。

レストランで夕飯を済ませ、適当に街を歩く。

さっきもらったプレゼントは、シンプルなデザインのペンダント。

さっそく、私の胸で揺れている。

右手でペンダントをいじっていると、不意に左手をつかまれた。

一瞬こわばった手を、彼は逃さずポケットに突っ込む。

もちろん、彼のポケットの中で手はつながっている。

私、今、手、つないでる…

ほろ酔い加減でちよつと赤味がさしていた私の顔は、これでもかと思っほど真っ赤になった。

ちよつとアルコールが入っていたからかな？

自分から、指をからめてみた…

他人から見たら、何でもないことなのかもしれない。

でも、私には、すつこいこと。

初めて恋人と過ごしたクリスマスは、たぶん、一生ものになったと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5948n/>

クリスマス・イヴ

2010年12月31日06時25分発行